

## ⑤開催に際して留意した事項—サステナビリティへの配慮

ATWS の開催に向けて、ATTA においてイベントサステナビリティガイドが定められている。これに則って ATWS2023 を開催するべく、ATTA と実行委員会は事前に必要な事項について調整し、アドベンチャーや会場運営で配慮を行うとともに、参加者に対して協力を求めた。

### i アドベンチャー

- ・移動の際やサポートカーにウォーターサーバーを準備し、マイボトルの持参を呼びかけた。
- ・紙素材の弁当箱でランチを提供し、プラスチックの使用を削減した。
- ・行程の一部を自転車や公共交通機関で移動した。
- ・ツアー中は、ガイドの音量や参加者の服装など、野生動物を驚かせない配慮をした。
- ・紙の資料を配付せず、アンケートもオンラインで実施した。

### ii 会場運営

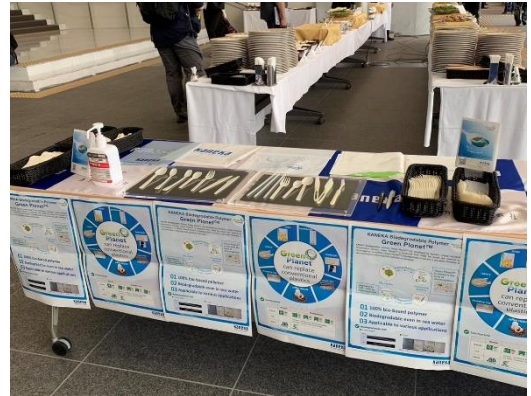
- ・簡素な会場・ブースとするため、リユース可能なリース備品を利用した。また、北海道らしさを表現するため、リユース可能なアイヌ文様のタペストリーを作成し使用した。
- ・ステージ装飾では、照明の効果的な使用やリサイクル可能な段ボール等を使用し、廃棄物を削減した。
- ・参加者のネームホルダーは、株式会社カネカの協賛により、生分解性バイオポリマー製のものとした。
- ・運営マニュアルをデジタル化し、印刷物を削減した。
- ・ATTA 及び実行委員会が事前に行った説明会で、ラウンジやマーケットプレイス出展者へ、タブレットや PC による説明を推奨し、印刷物の会場への持込を最小限にとどめた。
- ・参加者へ IC カード (Kitaca) を配布し、公共交通機関での移動を促した。

### iii 食事

- ・食事の提供量はメニューにより決定し、フードロスの減少に努めた。ランチのデザートに残りがある場合、可能なものは、コーヒースタンプで提供した。
- ・地産地消を意識し、北海道の食材を重点的に使用したメニュー構成にした。
- ・札幌コンベンションセンター及び大倉山ではウォーターサーバーを設置し、参加者のマイボトル持参を呼びかけた。
- ・食器は陶器やガラス製のものを使用したほか、カトラリーは株式会社カネカから生分解性バイオポリマー製のカトラリーを、株式会社サッポロビールからアルミカップとカップ洗浄機をそれぞれ協賛として受け、使い捨て物品の使用を減らした。



再生段ボールを活用したステージ装飾



生分解性バイオポリマー製カトラリーとその説明

#### iv オータムフェストにおける取組

ATWS 開催期間中に大通公園で開催されたさっぽろオータムフェスト（②9月11日（火）の「ウェルカムレセプション」を参照）では、令和5年度（2023年度）から、使い捨てプラスチックの削減のため、会場で利用する食器は紙・木材などの素材か、洗浄し再利用するリターナブル食器に限ることとしたほか、コンポストの導入やカーボンオフセットを行うなど、環境に配慮した取組が行われた。